

霧島市

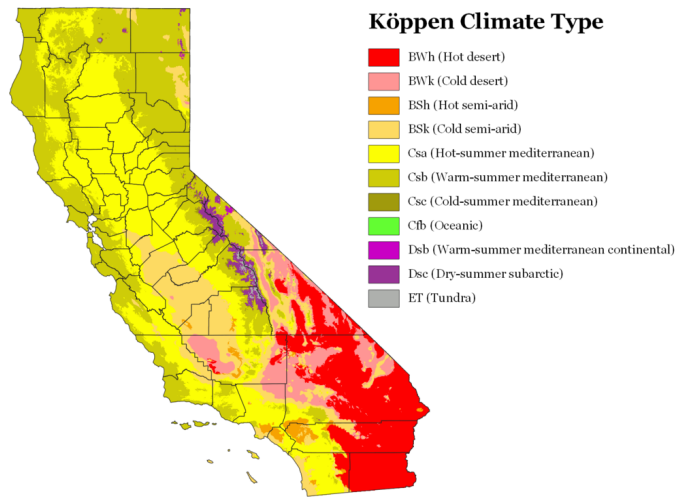
2024年

3月

よんたもんせニュース

皆さん、お久しぶりです。アメリカ国際交流員のショウ・ウェイリーです。三月末になって、異常に長い寒い日々が遂に終わりました。寒い時期が長いだけでなく、去年の11月から今月上旬までは、雨もほとんど降らなかった気がして、カリフォルニアの天候を思い出させます。カリフォルニアと言えば長い湾岸線に暑い天気と豊かな日差し、そして雨が全く降らないのが一般的なイメージだと思います。しかし、実はカリフォルニアにも雨季が存在していて、そして日本や世界中ほとんどのところとは逆の冬が雨季になっていることを、皆さんご存知でしょうか。今日は、カリフォルニアの天候について説明します。

Köppen Climate Types of California

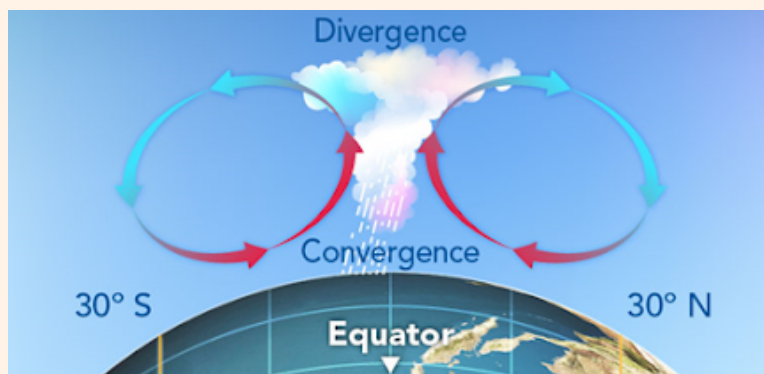


(PRISM Climate Group, Oregon State University)

カリフォルニアの気候

気候学では、ドイツの学者が考案したケッペンの気候区分が世界基準になっています。その基準の元で、カリフォルニアのほとんどはCs記号の天候に属しています。それを言語にすると温帯 (C: Temperate) 夏季乾燥 (s: Dry Summer) の意味であり、地中海性気候とも呼ばれています。このような天候は、名前の通り地中海地帯が代表的で、全世界で極少数の条件が満たされた地域にしか存在しない気候です。ではなぜその地中海の気候がカリフォルニアにも存在していて、その条件というのは何でしょうか？それについては、熱帯収束帯とハドレー循環、そして海流の概念が分かれば理解できます。

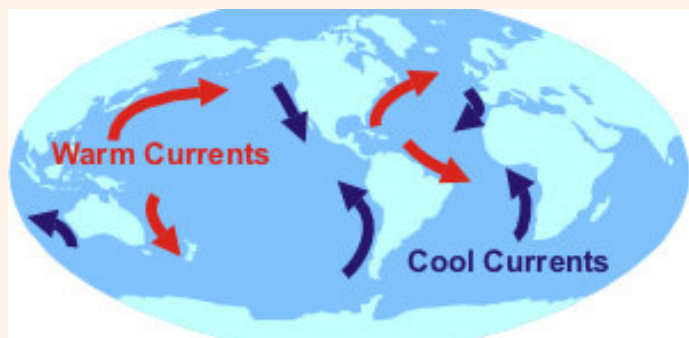
赤道のことは皆さんご存じだと思います。それは地球を南北に分けた線で、地球が太陽に最も近い場所です。基礎的な地理学です。赤道辺りは一年中ずっと太陽光を直接浴びて居る故、空気が他のどこよりも加熱され、上昇気流が形成されます。これも簡単な物理学です。しかし地球には重力があるから、赤道で上昇した気流はやがて極方向へ移動し降りてきます。詳しい原理の説明は飛ばしますが、上がった熱気は湿気をたくさん連れ、寒い空中で冷却され雨を形成します。そのため、赤道から上がり、南北へ移動した空気は下がり地面に帰るとき、湿気がほとんど残りません。その降りてきた寒い空気もまた、気圧の低い赤道にやがて戻り、循環が形成されます、それをハドレー循環 (Hadley Cell) と言います。ハドレー循環は赤道の南北両方に存在しているため、赤道付近には全く風が吹かない地域が存在します、それを熱帯収束帯 (ITCZ: Intertropical Convergence Zone) と言います。



(University of Oregon)

熱帯収束帯自体もまた面白いもので、航海時代から有名な貿易風などと直接繋がっていますが、今日はその収束帯の南北側が主役です。前にも説明したように、降りてきた空気は全く湿気がないです。そのため、収束帯の南北両方は物凄く干ばつしています。北側は世界で最も有名なサハラ砂漠、南側はオーストラリアの砂漠がそのハドレー循環の産物です。南カリフォルニアの内陸側にもデスバレーという砂漠地帯があり、人類史上で最も高い地表温度がそこで記録されています。

そしてその干ばつ地帯は、季節の変化と共に移動します。夏になると昼が長くなることは、皆さん気付いていると思います。それは、地球の回転軸が偏っているからです。その偏りの結果は北半球の長い昼だけでなく、干ばつ地帯も共に北方向へとシフトされます。つまり、サハラ砂漠の北の方にある緯度35~45の地中海地帯や、同じ緯度に位置するカリフォルニア州は、夏になると乾いてしまう現象が起きます。



(National Oceanic and Atmospheric Administration)

でも日本も同じ緯度ゾーンにいるのに、なぜ乾いた夏がないどころか、梅雨が起きてしまうのでしょうか？それは簡単に言うと、海流のせいです。海は西側に暖かい海水が流れることがあり、ハドレー循環があるとしても、大陸東海岸は乾いた夏にはならない。同じ理由で、大陸西海岸のないアジアには、地中海性気候が存在しません。ちなみに日本で最も一般的な気候は世界中で最も普遍的なCfa (温暖湿潤気候、Cは温帯、fは乾期なし、aは暑い夏)タイプで、世界範囲ではこの気候の中で最も多くの人類が生活しています。東北から北海道まではDfaやDfb(bは涼しい夏を示す)の亜寒帯湿潤気候が普遍的になります。

気候が作る文化

カリフォルニアの気候は、独特な植物や作物を育み、そして商売や生き方にも影響しています。ワインを嗜む方は、必ずカリフォルニアのナパバレーを聞いたことがあると思います。実は、葡萄が育つには、地中海性気候が最も適していると言われています。他のワイン産地を見ると、スペイン、フランス南部(プロヴァンスなど)そしてイタリアも、全部似たような気候です。夏に少ない雨と長時間の日差しがあることが、一番良いワインを作る条件を満たしています。その他にトムモロシやオリーブも有名な作物で、カリフォルニアはオリーブオイルも名産品です。雨の多い北カリフォルニアには、セコイア(またはレッドウッド)という、世界で最も高い木があります。

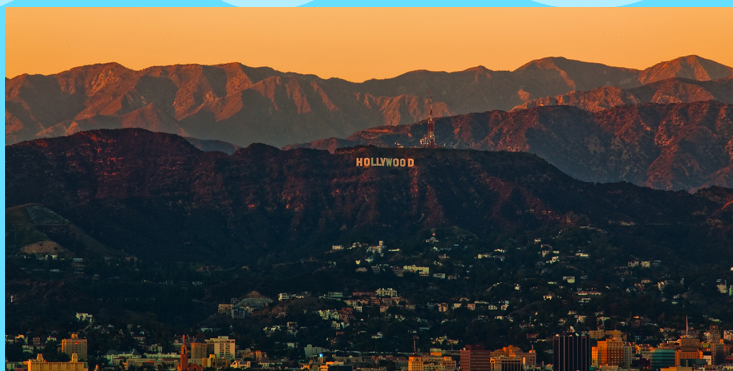


(Visit Napa Valley)



(Visit California)

それと、意外に思うかもしれませんが、ハリウッドが映画の聖地になったのも、気候のおかげです。百年前は、まだ映画撮影に自然光が要だった時代でした。夏に十分な日差しがあるロサンゼルスは映画製作会社を引き寄せ、その後自然と世界の映画業界を制するハリウッドが生まれました。



(Visit California)